

～福島から発信する私たちの未来～
企画書（案）

1. 目的：

2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波により大きな被害を受けた東北地方の復興には、高齢化や過疎化といった日本のみならず世界に共通した課題の解決が求められており、日本全国・全世界から注目を集めています。被災によって加速されたこれらの課題を抱える東北地方はまさに“日本、世界の課題先進地域”となっています。

“課題先進地域”である東北地方のなかでもより多くの課題を抱える福島では、被災から5年が経つ現在、全世界から課題解決のために集まった人材が交流を持つなかで、それぞれの地域に根差して復興・まちづくりを主導するリーダーが生まれています。リーダーたちには地域の課題に対して自分事として向き合い、実践することが求められており、そのリーダー達の姿は、地域の未来を担う若者に刺激を与えています。

当フォーラムは、それぞれ異なるバックグラウンドを持つ日本全国及び全世界の高校生が、“課題先進地域”の福島で被災地の現状と地域のリーダーのあり方を現地見学や地域のリーダーから学び、世界に発信するとともに、今後の防災・減災に向けた社会基盤のあり方や、地域の防災力向上に向けた人材のあり方、地域復興に向けグローバルな視点をもった交流のあり方について、多様な視点に立った課題認識と解決に多くの仲間と挑戦することで、地域を担うまちづくり人材の育成を促進するものです。

2. 開催日：平成28年8月8日（月）9日（火）10日（水）

3. 開催場所：いわき産業創造館 企画展示ホール

4. 参加予定：全世界の高校生

国内 東北：各県から2～4名（12～24名）

他：各都道府県から2名程度（20名程度）

海外：20名程度

5. 主催：「未来のまちづくり・みちづくりフォーラム」実行委員会

6. 共催：一般社団法人東北経済連合会、福島県・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・いわき市・特定非営利活動法人ハッピーロードネット・東日本国際大学・相双4JC協議会・（公社）いわき青年会議所

7. 後援：福島県教育委員会・青森県教育委員会・岩手県教育委員会・宮城県教育委員会・秋田県教育委員会・山形県教育委員会・いわき市教育委員会・東北地方整備局・（一社）東北地域づくり協会・東日本道路会社（株）・東北電力（株）・福島民報社・福島民友新聞社・東奥日報社・デーリー東北新聞社・岩手日報社・河北新報社・秋田魁新報社・山形新聞社・山形放送・いわき民報社・東北専門新聞連盟・NHK福島放送局

公益社団法人日本サッカー協会・社団法人こども環境学会 等

8. 関連事業：

平成28年8月8日 ワークショップ（1）（現地見学含む）、高校生交流会

平成28年8月9日 ワークショップ（2）、高校生夕食会
（仮）参加教諭による研究会

平成28年8月10日 ワークショップ（3）、ワークショップ（4）

第2回「ハイスクール世界サミット in 福島」

～福島から世界へ発信する私たちの未来～

次 第

開催日時：平成28年 8月 10日（水）
12時30分～16時30分

場 所： いわき産業創造館 企画展示ホール
司 会： 福島県立磐城高校 放送委員会
福島県立湯本高校 放送部

12:00 開場

12:30 主催者挨拶

実行委員長

西本 由美子

名誉顧問

内閣総理大臣夫人 安倍 昭恵

12:40 来賓挨拶

福島県知事

内堀 雅雄様

いわき市長

清水 敏男様

13:00 ワークショップ発表

テーマA「地域の防災リーダーになろう」

テーマB「地域と世界の架け橋になろう」

14:00 フロアディスカッション（高校生との意見交換）

【しゃべり場形式のフォーラムディスカッション】

テーマ：「(仮) 災害時の住民行動と、それを助ける社会基盤とは」

ファシリテーター：東日本国際大学教授 福迫 昌之

アドバイザー：内閣総理大臣夫人 安倍 昭恵

(調整中)

16:00 閉会挨拶

大学生ファシリテーター

日置 友智

※閉会后16:30まで記念写真撮影

敬称略

関連事業企画

参加予定高校生

- 国内 東北：各県から2～4名（12～24名）
他：各都道府県から2名程度（20名程度）
海外：20名程度

【ワークショップテーマ概要説明】

テーマA：

「地域の防災リーダーになろう（Become a Disaster Risk Reduction Leader in Local Community）」

東日本大震災は人々の防災に対する関心を大きく高める契機となった。震災から5年が経つ現在でも、毎年各地で多様かつ深刻な自然災害が発生しており、これらの災害対応は最も重要な課題である。しかしながら、多くの住民一般においては、関心をもちながらも具体的な実行方法が十分に認知されておらず、効果的な防災策を考え、自ら講じることができる人は限られている。今後地域コミュニティが防災に取り組むにあたって必要とされるのは、率先して地域防災を考え、それを実践するために地域住民の防災能力を向上させるなど、地域の防災を主導していくリーダーの存在である。

テーマAでは、参加高校生が「地域の防災リーダー」になるべく、世界初のトリプル災害を受けた福島で、それぞれの地域のことを想定しながら必要な社会基盤や地域での連携方策について議論を行い、自分たちから進める防災力向上について考えていく。

テーマB：

「地域と世界の架け橋になろう（Bridge between Local Community and the Rest of the World）」

グローバル化によって世界中の人々の行き来が活発になっている。異国に居住したり、観光に訪れたりする外国人は増加傾向にあり、この動きは今後ますます加速していくと予想される。最近では、都市部や有名観光地にとどまらず地方へ訪れる外国人も少なくないことから、各国で地域住民と外国人が交流する機会は増加している。日本もその例外ではなく、とりわけ、東北の被災地ではボランティアやスタディツアーを通じた交流が多く見られる。

地域がより魅力を持ち、発信力を高めるために一層必要とされるのは、相互理解を基盤とした交流を生む土壌、それを主導するリーダーである。

テーマBでは、参加高校生が「地域と世界の架け橋」になるべく、交流の先進地福島で、それぞれの異なる立場や経験、身近な例をもって議論を行い、自分たちができる地域と世界の結び方、それを実現するための社会基盤のあり方を考えていく。

○ワークショップ（1）

開催日時：平成28年8月8日 13時10分～16時00分

開催場所：楢葉PA、夜ノ森公園、富岡駅、いわき産業創造館 等

内容：

1. ガイダンス・自己紹介

日本全国及び海外から集まった高校生と、ファシリテーターを務める大学生の顔合わせと今後の活動についてのガイダンスを行う。はじめに参加者全員で集合し、事前に選択した2つのテーマ（下記参照）についてファシリテーターから概要を説明する。つづいて、各テーマにつき使用言語で3チーム（日本語2、英語1）にわかれて、簡単な自己紹介とアイスブレイクを行う。

2. 現地見学

東日本大震災から5年が経過した被災地域を見学して被災当時に思いを馳せつつ現状を実感し、また、全世界に共通する課題を共有する。バスでの移動中や現地で被災者や原発事故収束に実際に携わる方から直接話を聞く。また、チーム内で二人一組となってお互いの感想や意見を話し合い、考えを深める。

3. 双葉郡の高校生によるプレゼンテーション

2017年3月に休校となる双葉郡内の高校の生徒が、双葉郡の状況や高校のことについて、ハイスクール世界サミット参加者にプレゼンテーションを行う。参加者と同じ高校生目線の地元の生の声を聞く。

4. 情報共有・いわきおどり練習

チームごとで現地見学や地元高校生の発表をうけての情報・感想の共有を行い、翌日のワークショップの準備を整える。また、いわきおどりの振付を覚える。

○第35回いわきおどり（いわきおどり実行委員会主催）への参加

開催日時：平成28年8月8日 16時45分～17時35分

開催場所：JRいわき駅前大通り（国道339号）

内容：毎年行われている地元いわきのお祭である「いわきおどり」にハイスクールサミットチームとして出場する。いわきの文化に触れるとともに、身体を動かして緊張をほぐし、参加者全体で一体感を持つことを目的とする。

○高校生交流会

開催日時：平成28年8月8日 18時～20時30分

開催場所：いわき産業創造館（ラトブ）

内容：全国から集う高校生と海外の高校生、大学生ファシリテーター、事務局メンバーによる交流会および、意見交換会。高校生のネットワーク構築を目的とする。

・各県および国ごとの自己紹介

・名刺交換会（自己PR用の名刺を各自40枚持参し、参加者同士で交換する。）

○ワークショップ（2）

開催日時：平成28年8月9日 9時00分～17時00分

開催場所：いわき産業創造館

内容：

午前

1. 各テーマに関する課題の発見とトピック決定

チームごとに身近かつ具体的な例から課題を列挙していき、自分たちが議論する課題を決定する。その際にそれぞれが事前調査として提出したエントリーシートを活用する。

2. 目指すべきリーダー像についての議論

テーマ A,B それぞれに関連して、地域を引っ張っていくリーダーとはどのような人物であるか議論し、目指す理想像をチームで共有する。

午後

3. 実践者へのインタビュー

各テーマに関連して実際に地域で活動している被災地のリーダーを招き、各チームがそれぞれ選択した課題に関するインタビューを行い、実践者の視点から課題を深彫りする。

4. 解決方法の模索

インタビュー結果を参考にして、各チームがそれぞれの課題に対して、自分たちが地域で自らが主導して実践できる解決方法を考え、まとめる。

○高校生夕食会

開催日時：平成28年8月9日 18時～19時

開催場所：（仮）いわきワシントンホテル

内容：参加高校生と大学生ファシリテーター全員で夕食を摂り、より交流を深める機会とする。

○ワークショップ（3）

開催日時：平成28年8月10日 9時00分～11時30分

開催場所：いわき産業創造館

内容：発表の準備

前日までの議論をまとめて発表する準備を行う。発表形式は、模造紙やプロジェクターを利用した壇上でのプレゼンテーションを予定。

○ワークショップ（4）

開催日時：平成28年8月10日 16時～16時30分

開催場所：いわき産業創造館

内容：振り返り

チームごとにフォーラム終了後にワークショップのクロージングを行う。フォーラムの感想や、3日間にわたったワークショップ全体への感想を共有する。

その他：8月9日（午後）参加教諭による研究会を開催予定